

### 市長の政治姿勢 選挙公約文書



ねもと たざえもん  
根本 太左衛門 議員

市民のもとに取り戻すとは、適切な表現なのか

**Q** おみがわこども園、ひまわり苑無償譲渡の件で市議会の議決を経て、両施設とも市有財産の無償譲渡契約の締結を知らなから、選挙公約のチラシで、あれほど市民のもとに取り戻すと公約していたが、今後どのようにしていくつもりなのか。

**A** おみがわこども園、ひまわり苑の無償譲渡については、いずれの施設も議会において、施設の無償譲渡についての議決をいただき、市有財産無償譲渡契約を締結しております。議会の議決を重く



おみがわこども園

受け止め、協定に基づき両施設のより良い運営に努めてまいりたいと考えております。

**Q** 間違いであったのではないのか。間違いであったとしたら、市民に謝罪する考えは。

**A** 市長となって以降、事実確認をして認識を改めたものであり、事実を確認し、現状を踏まえ判断した結果であります。考え方を変更することについては、謝罪を要するものではないと考えております。

### 産婦人科施設の誘致は 市の最重要課題ではないのか

**Q** 産婦人科施設の件では、地質調査の結果は。旧佐原第二中学校空き地への考えは。また、他の場所を考えているのか。

**A** 地質調査については、医療法人社団みずたに会から、支持地盤は地下70メートル程度の位置であったとの報告を受けております。産婦人科施設の開設場所については、

協定書に基づき旧香取保健所跡地に開設するための設計が進んでおり、これまでどおり旧香取保健所跡地を産婦人科施設の開設予定地として進めてまいります。

**Q** 令和6年度に小見川高校に医療コースが設置される予定であれば、県の動向に注視するのではなく、直ちに香取郡市民の代表である伊藤県議を介して熊谷知事へ陳情・請願等はされたのか。また、国道356号バイパスも併せて伺う。

**A** 令和5年6月1日、千葉県庁を訪れ、県担当課と今後の方向性について意見交換をいたしました。6月5日には、市役所において、香取おみがわ医療センター附属看護専門学校校長等との面談を行いました。今後、地域における関連施設である附属看護専門学校等関係者との間で協議しながら進めていくべきものと考えております。国道356号バイパスについても、6月1日に県担当課と意見交換をさせていただいたところで、令和5年1月に県から事業化すべき路線として認定され、3月4日・5日には地元説明会が開催されており、今後、着実に進められていくものと聞いております。

### 自治体広告や ネーミングライツの活用を

**Q** 自治体の財源の確保策として、広告やネーミングライツ(施設等への命名権)をうまく活用しているところもある。香取市の広告料の直近の推移は。

**A** 広報紙、ホームページの広告料については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一時広告依頼事業者の事業縮小などにより広告収入が減少したが、現在は、新たな事業者からの申込みなどにより、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。

**Q** 今後どのように広告やネーミングライツを活用していくのか。

**A** 自主財源の確保という観点から、新たな広告媒体についても近隣自治体など、先進事例を研究し活用を努めてまいります。また、新たな媒体への活用も検討してまいりますと考えております。

### AIの活用と 効果的な利用ルールの制定を

**Q** 市の業務でのAIの活用状況は。

**A** 特定健診受診勧奨へのAIの活用について、令和5年1月時点の受診率が令和4年の同時期と比べ8.2ポイント増加しており、一定の効果が認められたことから、継続して運用しているところです。

**Q** ChatGPTを市の事務に導入することを決めた事例もある。香取市ではどのように考えるか。また、今後活用する予定は。

**A** 対話型AIと言われる技術については、急速に発展し、官民間問わず各種業務への活用が期待される一方で、情報漏えいの危険性などが指摘されています。市としては、課題を整理しながら対応策を検討し、十分な安全性を確保した上で有効に活用できるか、国・県の動向および他市の事例なども参考にしながら調査研究を進めてまいります。

### 取り残されなかったための 観光施策実施を

**Q** 感染症感染拡大後の香取市の観光施策の実施状況は。

**A** 市としては、アフターコロナを見据え、観光情報をホームページやSNSを通じて発信し、継続的に市の魅力をPRするとともに、国のコロナ交付金などを活用し、安心して訪問していただけるよう各施設などに感染症対策機器等を設置するほか、観光客の利便性を向上させる設備等の充実を図っております。

**Q** 今後の香取市の観光施策は。

**A** 今後、さらなる体制整備を図り、インバウンドの受入れ体制の強化も取り組んでまいりたいと思っております。また、観光振興につながるキャッシュレス決済ポイント還元事業をはじめ、関係機関と連携し、経済効果の大きい滞在型観光の推進に引き続き取り組んでまいります。

**意見** コロナ禍を経て、観光産業の高付加価値が進んだ。市内にも先進的な取り組みをされている事業者がいらっしゃる中で、色々な方々を交えて「香取市の観光」をつくって行っていただきたい。